令和2年度 磐田市立向陽中学校 学校評価書

項目	学校経営目標	具体的実践内容	評価項目と【目標値】 (カッコ内数値はH30,R1,R2の実績)	自己 評価	考察・改善策	学校関係者評価委員から			
1	(1)よりよく生きる力」をもった生徒の育成	ア 時間を守る、ルールを守る、あいさつができる等の基本的な生活習慣の確立	進んであいさつをしている【95%】 (生徒: 97.8⇒95.2⇒96.7) (保護者: 91.5⇒90.2⇒90.2) (教師: 84.6⇒80.0⇒100) (学校関係者: 85.7⇒90.9⇒81.8)	A	○生徒、教職員とも目標値を超え、校内では目標が達成できていると判断する。一方、学校関係者評価については、目標より大きく下回る結果となった。本年度は新型コロナウイルスの関係で、地域の行事がほとんど中止となり、生徒と地域が関わる場面はほとんどなかった。学校外であいさつができていないかの判断は、通常の生活に戻った状態で改めて判断する必要がある。	○交流センター入り口で交通指導のボランティア活動を行っています。自転車で通るときにいつも元気に挨拶してくれています。気持ちが良いです。 ○(地域で)あいさつがしっかりできている。			
		イ 受容と共感、人間尊重の精神を基盤とし、積極的に機動的な生徒指導	私たちの学級はルールを守り、協力する雰囲気がある【94%】 (生徒: 91.8⇒94.1⇒94.0) (保護者: 93.1⇒93.7⇒96.1) (教師: 84.6⇒100⇒100)				A	○生徒、保護者、教師とも目標値を上回っている。引き続き、生徒相互、生徒と教師のつながりを大切にした学年・学級づくりを基盤として、ルールを守る、協力する雰囲気づくりに努めたい。	○新型コロナ流行により、今年度は誰もが経験したことのない一年が過ぎようとしています。収束の見通しが立たない中で、学校としての「新しい生活様式」を模索し、進めていただいていることに感謝申し上げます。このような状況の中、学校に出向く機会、生徒さんの活動を見る機会も今年は減ったが、身近で直接目にする姿や学校の便り等で知ることができました。
		ウ 生徒相互、生徒と教師のつながりを大切に	規則正しい生活を送っている【90%】 (生徒: 91.3⇒88.8⇒89.7) (保護者: 77.0⇒76.6⇒76.0) (教師: 100⇒93.3⇒100)						
エ 体力・生活リズム向上の啓発と教育課程での計画的な位置づけ	積極的に自分の考えを伝えている【73%】 (生徒: 74.6⇒72.3⇒69.8) (保護者: 58.9⇒64.0⇒65.9) (教師: 53.8⇒73.3⇒69.2)	B	○生徒、保護者、教師とも目標値を下回っている。各教科でペア学習やグループ学習を取り入れるなど、自分の考えを伝える場面を意図的に設定した取組を行っているが、あまり改善が見られない。生徒から出た考えをうまく拾って全体に紹介したり、その考えを使ってその後の授業を展開したりする工夫が必要である。						
オ 規範意識(情報モラル含む)や社会性を育てる指導や多面的、総合的な生徒理解	コンピュータなどを使って何かを調べたり、分かりやすく相手に伝えたりする【88%】 (生徒: 78.5⇒86.8⇒92.2)				A	○ここ3年で数値が大きく上昇した。総合的な学習の時間で調べ学習をしたり、単元のまとめをパソコンを使って行ったりする活動を積極的に行ったことが、数値の上昇につながったと思われる。今後もICT機器の活用をさらに推進し、更なる成果を出していきたい。			
カ SCやSSW、関係機関との連携及び課題を抱える生徒への積極的な働きかけ	共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システムの考えに基づいた特別支援教育								
4	(2)積極的に自分の考えを伝えられる生徒の育成	ア 学び手の視点を大切に、「何を学ぶか」「どのように学ぶか」「何ができるようになるか」を意識した授業改善	積極的に自分の考えを伝えている【73%】 (生徒: 74.6⇒72.3⇒69.8) (保護者: 58.9⇒64.0⇒65.9) (教師: 53.8⇒73.3⇒69.2)	B	○生徒、保護者、教師とも目標値を下回っている。各教科でペア学習やグループ学習を取り入れるなど、自分の考えを伝える場面を意図的に設定した取組を行っているが、あまり改善が見られない。生徒から出た考えをうまく拾って全体に紹介したり、その考えを使ってその後の授業を展開したりする工夫が必要である。				
		イ 個別最適化を目指した学びや創造性を育むICT機器の活用研究	コンピュータなどを使って何かを調べたり、分かりやすく相手に伝えたりする【88%】 (生徒: 78.5⇒86.8⇒92.2)				A	○ここ3年で数値が大きく上昇した。総合的な学習の時間で調べ学習をしたり、単元のまとめをパソコンを使って行ったりする活動を積極的に行ったことが、数値の上昇につながったと思われる。今後もICT機器の活用をさらに推進し、更なる成果を出していきたい。	
5	(2)積極的に自分の考えを伝えられる生徒の育成	ウ ローテーション道徳の実施及び「考える道徳」「議論する道徳」の継続	コンピュータなどを使って何かを調べたり、分かりやすく相手に伝えたりする【88%】 (生徒: 78.5⇒86.8⇒92.2)	A	○ここ3年で数値が大きく上昇した。総合的な学習の時間で調べ学習をしたり、単元のまとめをパソコンを使って行ったりする活動を積極的に行ったことが、数値の上昇につながったと思われる。今後もICT機器の活用をさらに推進し、更なる成果を出していきたい。				
		エ こころざしを育む「コスモス学習」の充実							
5	(2)積極的に自分の考えを伝えられる生徒の育成	オ 朝読書や読み聞かせによる読書活動推進と家庭学習の見届けや学習相談等による生徒個々に応じた学習支援							

令和2年度 磐田市立向陽中学校 学校評価書

項目	学校経営目標	具体的実践内容	評価項目と【目標値】 (カッコ内数値はH30,R1,R2の実績)	自己評価	考察・改善策	学校関係者評価委員から
6	(3)自ら考えて行動できる生徒の育成	ア 行事や諸活動をおとして所属感や自尊心を高める特別活動の充実 イ 生徒の主体性、創造性を大切にした生徒会活動と学校行事(体育大会、文化発表会等)の実現 ウ 積極的に地域を知り、社会に参画しようとする態度を養う各種ボランティア、地域行事への参加・協力の奨励 エ 責任感や連帯感、健全な心身、たくましさ涵養する部活動の推進 オ 生徒自らが主体的に生き方を考えるキャリア教育の推進	行事や課外活動に積極的に参加している【90%】 (生徒:91.8⇒90.9⇒89.2) (保護者:92.9⇒88.6⇒86.9) (教師:92.3⇒100⇒92.3)	B	○今年度は新型コロナウイルスが蔓延した影響があり、部活動に大きな制限がかかり、十分に活動できる状態ではなかった。そのことが数値の微減となったと判断している。来年度は、制限なく、これまで通りの活動ができることを期待している。	○コロナ禍、行事が予定通り実施できなくて大変です。対応等には満足しています。
7	(4)子どもを支える頼もしい教職員、保護者や地域との連携・協働による魅力ある組織づくり	ア マネジメント機能の強化を図り、教職員一人一人が力を発揮できる組織作り イ 積極的に学び続け、豊かな人間性と思いやり、指導力向上を目指す教職員集団の形成・ネットワーク型オン・ザ・ジョブ・トレーニングによる若手育成 ウ 教職員間のコミュニケーションの活性化と、風通しの良い職場環境づくり エ 兼務連携による学校行事の効率化・適正化及び学校諸会計の効果的で透明な執行 オ コンプライアンス委員会を核とした不祥事根絶の取組 カ 教育活動の目標やビジョンの発信と保護者や地域の思いの受信による理念の共有 キ 地域と一体となって子どもたちを育む「地域と共にある学校」	今住んでいる地域の歴史や自然に関心がある【67%】 (生徒:63.0⇒66.1⇒64.7) (保護者:50.0⇒49.1⇒51.9)	B	○生徒、保護者とも低い数値で推移している。次年度は生徒が桶ヶ谷沼や小学校、交流センターなどを訪問し、地域の自然や住民と接する場面を設定した「地域交流活動日」を実施する。この活動を通して、生徒が地域の自然や文化について、少しでも興味をもつ取組としていきたい。	○地域の交流は地区祭典など参加する中学生が多く良いことだと思います。環境活動の空き缶拾いや交流センターで行われている「向笠ふれあいまつり」等、運営のボランティア活動に参加してもらい、助かります。
8			教育公務員としての資質向上に努めている【100】 (教師:100⇒100⇒100)	A	○3年間100%を続けている。職員一人一人の意識に加えて、職員間が大変仲が良く、人間関係が充実していることが、結果に反映していると判断する。今後も続けていきたい。	○「情報公開」に関して、HPや学校だより等見えますが、生徒のふだんの様子や活躍した成果などが知らされていないので残念に思います。例年なら呼ばれた体育大会や文化発表会などの行事について、保護者だけでなく学校運営協議委員に対してYou Tube配信の公開があったら良かったです。ほとんどの委員に対して学校情報の公開をしていない状況でこのアンケートがあること自体が難しいと思いますが、他の学校はもう少し学校と関わる機会があるので、この評価とさせていただきます。 ○「地域との交流」も同じですが、資源回収などの地域の協力があつての活動に対して(例年と違うことは理解していますが)学校の地域に対する考え方に疑問を感じています。感染拡大防止との両立は難しいと思いますが、学校と家庭だけでは子どもは育ちません。学府一校校の話も出ている地域だからこそその取組をしていただきたい。 ○自転車通学時に歩道を走っている子が車道に出ると右側通行になって大変危険です。また、放課後、休日、スマホを見ながらの運転も目立つ。地域と共に学校での指導、よろしくをお願いします。

令和2年度 磐田市立向陽中学校 学校評価書

項目	学校経営目標	具体的実践内容	評価項目と【目標値】 (カッコ内数値はH30,R1,R2の実績)	自己評価	考察・改善策	学校関係者評価委員から
9	(5)健康・安全・安心な学校生活と教育環境の整備・充実	ア 交通ルールや自転車マナーの徹底を重点とし、「命」の大切さを意識づける交通安全教室の推進 イ 危機管理体制や防災体制の確立と防災教育の推進 ウ 学校保健委員会や「健康・安全の日」を通じた保健指導の充実	体力の向上を目指している【88%】 (生徒: 84.9⇒87.2⇒86.4) (保護者: 78.9⇒71.3⇒72.1)	B	○生徒はほぼ目標値に近いが、保護者は目標値を下回っている。部活動では、12月は日照時間が短く、活動時間がほとんどとれない日が多い。そこで、その月の授業時数を5時間にし、空いた時間を部活動の時間とすることで、寒い冬の時期での体力を向上させる時間を確保していく。	○コロナ禍の中での学校運営、御苦労が多かったと思います。人との接触が制約された今年は、どうしても活動が小さくなってしまい、交流どころではなかったことでした。中学生としての思い出作りもきちんと進めていただいていることだし、うまくやっていると思います。
10		エ 磐田市アレルギー対応の手引きに準拠した食物アレルギー、喘息への対応と、「食と健康」に関わる食育指導の取組 オ いじめ防止対策基本方針に基づいた未然防止、早期発見、早期対応力 安全点検の確実な実施と、修繕、環境整備の充実	安全・安心に対する指導・助言に気を配っている【100%】 (教師: 100⇒93.3⇒100)	A	○登下校の安全・安心を確保するために、全職員で下校指導を行うなど、丁寧な指導を行ってきた。また、様々な感染症拡大予防対策、定期的な防災訓練や安全指導教室、インターネット学習会など、自然災害や普段の生活に直結した内容について学習する取組を行ってきた。今後も生徒がより安全で安心した生活を目指していけるよう、全職員で指導していきたい。	○コロナ禍でいろいろと教育活動が制限される中、大変だと思います。苦しい時こそ、本質が見えてくると思います。何が大切かを見据え、次年度の教育を考えてください。